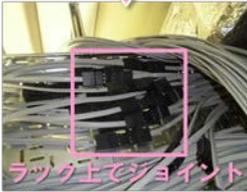


ESユニット工法

写真・イメージ	概要（効果・特徴・メリット等）														
 <p>分電盤 ラック</p> <p>【ESユニット全景】</p>  <p>二次側ケーブル 取り出し</p>  <p>ラック上でジョイント</p> <p>【コネクタ付 二次側ケーブル】</p>	概要	工場でユニットとして分電盤、幹線ケーブル一次側接続、ケーブルラックを組立したものをES構築前に現場に搬入・据え付ける													
	工程	<table border="1" data-bbox="947 352 1456 470"> <tr> <th>設計</th> <th>躯体施工</th> <th>内装施工</th> <th colspan="2">外構施工</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>				設計	躯体施工	内装施工	外構施工				○		
設計	躯体施工	内装施工	外構施工												
		○													
 <p>幹線接続ケーブル 取り出し</p>  <p>ラック上でジョイント</p> <p>【コネクタ付き 幹線ケーブル】</p>  <p>ユニット設置後 ラックを延長</p> <p>【スライド式縦ラック】</p>	効果	<p>■ユニット採用による現場作業削減内容</p> <p>①分電盤、ケーブルラックを共通架台に組み込み → チャンネルベース取付け、ケーブルラック架台設置、ケーブルラック布設工事の削減</p> <p>②メカニカルコネクタ付幹線ケーブルの分電盤の主幹ブレーカー一次側端子台接続を工場にて実施 → 接続作業と増し締め確認作業の削減、増し締め確認も目視確認が可能</p> <p>③ケーブルラック用接地線を分電盤から配線・接続 → 工場にて接続するため現場作業が削減</p> <p>④分電盤上部の枠部分を取り外し式とする → ケーブル取込作業が安易となり作業工数を削減</p> <p>⑤ES内点検用コンセントを分電盤側面に取付け → 工場にて組み込むため作業を削減</p> <table border="1" data-bbox="947 734 1585 852"> <tr> <td>Q</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>S</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>△</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>				Q	C	D	S	E	○	△	◎	○	○
Q	C	D	S	E											
○	△	◎	○	○											
	備考 注意事項	<p>【もの決め】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニット化のための工程が必要であるため、早期の図面確定が必要。 ・標準分電盤の作り込みにより、ESユニットパターンの削減が可能。 <p>【施工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・揚重工程の調整を確実にを行う。 													
	適用範囲 仕様														
	用途	全ての用途													